

## PLANTS ARE FASCINATING

「Fascination of Plants Day 2019 (FoPD2019)」がEPSO（欧州植物科学機構）主導のもと、世界中で開催されます。日本では「国際植物の日：世界のみんなで植物の大切さを考える日」として毎年活動しています。この活動をとおして、世界中の人たちと一緒に植物の大切さを見直し、様々な分野における植物科学の重要性をあらためて考えていくことが目標です。植物科学は、農業、持続可能な食糧生産、園芸、林業、食品はもちろん、紙、繊維、化学物質、エネルギー、医薬品にいたるまで、様々な分野に活かされています。また、植物はすべての生きものにとってよい環境を保つためにも欠かせません。

**植物に関するこの取組みに、皆さんも参加してみませんか？**

この試みに貢献してみたいと思われる方は、学校の方も園芸家の方も、どなたでも歓迎です。2012~2018年の「国際植物の日」では、多数の植物科学研究機関、大学、学校、植物園、博物館、さらに農家や企業が門戸を開き、家族皆で楽しめるさまざまな植物関連のイベントを開催しました。これまで世界各地で開催された植物に関するイベントは、「FoPD Success Stories」で見ることができます。

**メディアの方や科学者、行政の方の参加も歓迎します。**植物科学界における第一線の研究や新発見をご紹介します。ともに議論し、植物科学が提供できる、あらゆる可能性、新たな応用を探求しましょう。劇場、カフェ、街の広場、公園などの公共の場で、植物について考える幅広いイベントに人々を巻き込み、「国際植物の日」を盛り上げていきましょう。

**2019年5月18日に、植物に関連した催しを企画してみませんか。**5月18日が「国際植物の日」当日で、多くのイベントがこの日に開催されます。さらにご都合によっては、2019年4月18~6月18日の週のうちにご開催いただいても結構です。2017年には約1000のイベントが世界中で開催されました。2019年は2017年以上のイベント開催を目指しています。

**植物はとてもおもしろいものです。**土にまかれた一粒の小さな種から、多くの緑の生命が生じます。この仕組みは、草花のような小さなものから巨大な木々まで、あるいは観賞用の花々から全動物と人類がこの惑星で生き抜くための糧である主要作物に至るまで同じです。地球上の植物種は25万種にのぼると見積もられています。全世界で一斉に行われるこの活動にも、欧州と世界の人々が共同体として一つとなった心のなかに、目には見えなくても絶えず芽吹きつづける種を植え、植物科学が社会や環境全体において、現在も将来にわたっても、重要な意義を持つということを知ってほしいという願いが込められています。

**植物への関心を高めましょう！**

「国際植物の日」のコーポレートデザインを無償で提供します。FoPDウェブサイトのメニューにある「PR-toolbox」からダウンロードすることができます。イベントをウェブ上にアップするためには、各国のページに掲載しているナショナルコーディネーターに連絡をしてください。その他の質問は、EPSOのグローバルコーディネーターに連絡してください。**ぜひ楽しいイベントを開催してください！**

**#plantday**  
**[plantday@epsomail.org](mailto:plantday@epsomail.org)**